

受益者負担に関する部会 会議資料に対する各委員コメント

頁	項目	委員名	意見内容	会議資料への反映(仮修正)状況
1	タイトル	林委員	「受益者負担」という言葉は一般的でないのでは。上から見ているような感じがある。利用者、利用料金等のほうが市民に分かりやすいのではないか。	タイトルを「行政サービスの利用者の負担に関する基準のあり方」に修正
1	冒頭	藤沢委員	そもそも受益者負担の基準を作ることになった前提(財政状況・料金設定の現状など)を記載する必要があると思う。	(部会報告時に記載予定)
2	2の(1) 表1	大塚委員	「サービス提供」が「市のサービス」と重なって分かりにくい。別の表現にしたほうが良いのではないか。	「役務提供」に修正
	(2)	藤沢委員	「すべてのコストから価格を設定しています。」は「すべてのコストを基に収益管理をしています。」のほうが良いのではないか。	「すべてのコストを対象としています。」に修正
		小川委員	「すべてのコストから価格を設定しています。」は「すべてのコストを対象としています。」で良いのではないか。	
4	別表	小林委員	健康診査、高齢者インフルエンザ予防接種など健康に関するものは、社会全体の利益が多く、個人の責任というより公益的な側面が強いと考えるので、現在の位置付けよりも1段公益性を高くして良いのではないか。	別表の健診(2種)、高齢者インフルエンザ予防接種、健康教室の位置付けを1段公益性が強い方向に移動
5	4-(1) 表2	石川委員 大塚委員	負担割合の と は、それぞれ「 に比べて」「 に比べて」というように補う必要があるのではないか。	「 に比べて」「 に比べて」の趣旨を説明に追加
	4-(1) 備考	藤沢委員	備考欄の記載内容は別の項目として、「5 使用料等の決定にあたっての意見」に含めたほうが良いのではないか。	備考の記載事項を「5 個別の料金設定にあたって考慮すべき事項」に移動
		小川委員	備考欄の記載内容は割合を考える上での前提であって、意見ということではないのではないか。項目4の冒頭にあっても良いのではないか。	
6	4-(1) 表3	(事務局)	表3の区分は4区分としておくが、3・4の区分を一括して、負担割合を3段階とする方法もあると考えられる。そのほうが市民に分かりやすいのではないか。	<未対応>
	4-(3)	藤沢委員	施設提供費は、施設維持・運営費と施設建設費の負担割合を掛け算すると考えるのか。	足し算であることが分かるよう、説明文を追加
7	5	石川委員	基準に直接関わるものではないため、委員からの答申としては記載しなくても良いのではないか。	<未対応>
		藤沢委員	あくまで基準とする割合は目標・指標であって、多少の前後は認められるというようにやわらげたほうが良いのではないか。	<未対応>